

「田川哲史さん JR 東海労加入！ 歓迎大集会」アピール

6月28日、JR東海・大阪第二運輸所に勤務する田川さんがJR東海ユニオンと決別し、私たちJR東海労に加入した。JR東海労・大阪運輸所分会では、寄本さん、池田さんに続き3人目の加入である。

田川さんは、「JR東海ユニオンでは組合員を守れない」「JR東海ユニオン一部役員は自分の出世のためにやってるだけ」「私は人間らしく生きていきたい」と、日頃から不満・怒りを持っていた。そして、田川さんは「職場の問題を真正面から捉え、社員の立場に立って取り組んでいるJR東海労は、仲間を大事にし、会社と正々堂々と闘う労働組合だ」と考え、加入を決断した。

私たちはこの間、会社からの攻撃に対し、真正面から反撃の闘いを展開してきた。期末手当満額獲得の闘いや春闘などにおいて、会社はコロナ禍を口実として期末手当の大幅削減、賃上げゼロを強行したが、JR東海労は会社を厳しく追及し闘ってきた。一方、JR東海ユニオンは会社の顔色を伺い、期末手当の低額回答を「評価できる回答」と絶賛し、組合員の不評を買った。

そして何よりも、JR東海労が、54歳原則出向を口実とした、JR東海労への組織破壊攻撃に抗する闘いを職場内外から、そして全地本と連携を強化して、全力で闘い跳ね返してきていることに比し、JR東海ユニオンは、会社がJRC P等への若年出向を強引に行うことに対して、組合員の意向を無視抹殺し積極的に尻押ししているのである。これだけを見ても、組合員の利益を第一に闘うJR東海労と、闘わないJR東海ユニオンの差は歴然としている。

田川さんの加入は、「組合員の利益のために闘うJR東海労」と「会社のために、私利私欲のために蠢くJR東海ユニオン指導部」の違いを、証明したのである。

田川さんの加入を明らかにして以降、心ある多くのユニオン組合員から、数々の賛同と支持するメッセージが多数寄せられている。私たちJR東海労は、田川さんの加入を歓迎すると同時に、その勇気に学び、共に闘っていく。そして、田川さんに続く更なる組織拡大を実現するために、全組合員で奮闘する。

以上、アピールする。

2022年7月3日

田川哲史さん JR 東海労加入！ 歓迎大集会